



さあ、答え合わせをしよう！

第38週目 4/12 行ってみよう～栃木県(とちぎけん)からの出題

※ココを見てね! ▶行ってみよう～栃木県(とちぎけん)

1. 栃木県(とちぎけん)は、内陸(ないりく)にあるため、あるものがありません。さて、それは次のうち、何かな？

正解:①海

日本は島国(しまくに)なので、世界地図を見ると、海に浮(う)かんだ島のようにも見えます。ですが、全国47都道府県(とどうふけん)の中で、内陸(ないりく)に位置(いち)する次の8県には海がありません。栃木県(とちぎけん)、群馬県(ぐんまけん)、埼玉県(さいたまけん)、山梨県(やまなしけん)、長野県(ながのけん)、岐阜県(ぎふけん)、滋賀県(しがけん)、奈良県(ならけん)です。山や平野(へいや)はあるので、正解は①海です。

2. 藤岡神社遺跡(ふじおかじんじやいせき)から出土した土製品は、動物の形をしていました。次のうち、何？

正解:②イヌ

「お宝ベスト5」2つ目を見てください。四つ足の動物が、何かに向かって吠(ほ)えているようすがわかります。どう見ても、イノシシやネコじゃない…そう、正解は②イヌです。動物や鳥は、大昔から食料として飼(か)われてきたほか、生活のパートナーでもありました。それは、縄文時代(じょうもんじだい)の墓(はか)から、ていねいに埋蔵(まいそう)されたイヌの骨(ほね)が見つかったことからわかります。縄文人(じょうもんじん)とイヌとの関係(かんけい)は、新コーナー(調べてみよう～生活文化「墓(はか)」)のページも見てみてね。

3. 栃木県(とちぎけん)で、美しい細工がほどこされた「銀装円頭大刀(ぎんそうえんとうたち)」が見つかったのは、どの遺跡(いせき)ですか？

正解:②別処山古墳(べっしょやまこふん)

正解は②別処山古墳(べっしょやまこふん)です。全長37mの大きくはない前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)ですが、石室(せきしつ)には柄(つか)の部分が銀(ぎん)で装飾(そうしょく)された、美しい銀装大刀(ぎんそうたち)や六鈴鏡(ろくれいきょう)をまねた三鈴鏡(さんれいきょう)など、珍(めずら)しいものが副葬(ふくそう)されていました。このことから、この地域(ちいき)の首長(しゅちょう)の墓(はか)だと考えられています。「お宝ベスト5」4つ目にくわしく書かれていますので、読んでみてね。

4. 大塚古墳群内遺跡から見つかった人面付土器(じんめんつきどき)の顔が立体的なのは、なぜですか？

正解:②粘土(ねんど)を貼りつけている

「人面付土器(じんめんつきどき)」は、弥生時代(やよいじだい)の再葬墓(さいそうぼ)にみられる特有(とくゆう)の土器(どき)です。「お宝ベスト5」3つ目にある土器(どき)は、写真のように、目鼻立(めはなだ)ちがはっきりとしています。正解は②。粘土(ねんど)を貼(は)りつけて、鼻(はな)の顔の凹凸(おうとつ)をうまく表現(ひょうげん)しています。表情(ひょうじょう)はどこかあどけなく、すやすや眠(ねむ)っているようですね。

5. 下野七廻り鏡塚古墳(しもつけななまわりかがみづかこふん)の棺(ひつぎ)は、どんなものでしたか？

正解:②舟形木棺(ふながたもっかん)

下野七廻り鏡塚古墳(しもつけななまわりかがみづかこふん)では、湧水(わきみず)を大量(たくりょう)に含(ふく)んだ土の中から全長5.49m、幅(はば)1.08mの国内最大級の棺(ひつぎ)が見つかりました。約1500年前からずっと、発見(はっけん)されるのを待っていたのかもしれませんが。正解は「お宝ベスト5」5つ目で紹介(しょうかい)されているとおり、②舟形木棺(ふながたもっかん)です。